ロカメッツキットに係る 医薬品リスク管理計画書

ノバルティスファーマ株式会社

ロカメッツキットに係る 医薬品リスク管理計画書 (RMP) の概要

販売名	ロカメッツキット	有効成分	ゴゼトチド	
製造販売業者	ノバルティスファーマ株式会社	薬効分類	877290	
	提出年月日	令和7年11月12日		

1.1. 安全性検討事項				
【重要な特定されたリスク】	【重要な潜在的リスク】	【重要な不足情報】		
<u>なし</u>	読影エラー	<u>なし</u>		
1.2. 有効性に関する検討事項				
<u>\$L</u>				

↓上記に基づく安全性監視のための活動

2. 医薬品安全性監視計画の概要通常の医薬品安全性監視活動追加の医薬品安全性監視活動市販直後調査3. 有効性に関する調査・試験の計画の概要

→上記に基づくリスク最小化のための活動

4. リスク最小化計画の概要
通常のリスク最小化活動
追加のリスク最小化活動
市販直後調査による情報提供
医療従事者向け資材(撮像・読影の手引き)

各項目の内容は RMP の本文でご確認ください。

医薬品リスク管理計画書

会社名: ノバルティスファーマ株式会社

品目の概要						
承認年月日	2025年9月19日	薬	効	分	類	877290
再審査期間	8年	承	認	番	号	30700AMX00227000
国際誕生日	2022年3月23日					
販 売 名	ロカメッツキット					
有 効 成 分	ゴゼトチド					
含量及び剤形	1 バイアル中にゴゼトチド 25 μg を含有する注射剤					
用法及び用量	通常,成人にはガリウム (⁶⁸ Ga) ゴゼトチドとして 111~259 MBq を					
	静脈内投与し,投与 50~100 分後に陽電子放出断層撮影 (PET) 法に					
	より撮像を開始する。					
効能又は効果	PSMA 標的療法の前立腺癌患者への適応判定の補助					
承 認 条 件	医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。					
備考						

変更の履歴

前回提出日:

令和7年9月19日

変更内容の概要:

- 1. 「5.1 医薬品安全性監視計画の一覧」及び「5.3 リスク最小化計画の一覧」市販直後調査の実施状況を変更(軽微な変更)
- 2. 「5.3 リスク最小化計画の一覧」追加のリスク最小化活動の医療従事者向け資材(撮像・ 読影の手引き)の実施状況を変更(軽微な変更)
- 3. 医療従事者向け資材(撮像・読影の手引き)の変更(軽微な変更)

変更理由:

- 1. 市販直後調査を開始したため
- 2. 医療従事者向け資材 (撮像・読影の手引き) の提供を開始したため
- 3. 市販直後調査開始に伴うマークの変更,薬価基準収載に伴うロゴ変更,販売開始に伴う Drug Information の変更,記載整備

1 医薬品リスク管理計画の概要

1.1 安全性検討事項

重要な特定されたリスク

なし

重要な潜在的リスク

読影エラー

重要な潜在的リスクとした理由:

ガリウム(68 Ga)ゴゼトチドの取り込みは他のがん種,非悪性腫瘍及び正常組織でも生じる可能性があるため,PET 画像が誤って解釈される可能性がある。PET 画像の誤った解釈は誤診(偽陽性,偽陰性)につながる可能性があるため,重要な潜在的リスクに設定した。

医薬品安全性監視活動の内容及びその選択理由:

【内容】

通常の医薬品安全性監視活動

【選択理由】

通常の医薬品安全性監視活動で、収集された PET 画像読影エラーに関する情報を評価し、必要に応じて新たな医薬品安全性監視活動の実施を検討する。

リスク最小化活動の内容及びその選択理由:

【内容】

通常のリスク最小化活動として,電子添文の「適用上の注意」の項に記載し注意喚起する。

追加のリスク最小化活動として,医療従事者向け資材(撮像・読影の手引き)の作成, 提供を行う。

【選択理由】

読影者に対し情報提供を行い, 適正使用に関する理解を促すため。

重要な不足情報

1	.2	有効性に関する検討事項	ī
	.Z	有数川中に居り 公復計事権	1

2 医薬品安全性監視計画の概要

通常の医薬品安全性監視活動

通常の医薬品安全性監視活動の概要:

副作用,文献・学会情報及び外国措置報告等の収集・確認・分析に基づく安全対策の検討 (及び実行)

追加の医薬品安全性監視活動

市販直後調査

実施期間:販売開始から6ヵ月間

評価,報告の予定時期:調査終了から2ヵ月以内

3 有効性に関する調査・試験の計画の概要

4 リスク最小化計画の概要

通常のリスク最小化活動

通常のリスク最小化活動の概要:

電子添文による情報提供。

追加のリスク最小化活動

市販直後調査による情報提供

実施期間:販売開始から6ヵ月間

評価,報告の予定時期:調査終了から2ヵ月以内

医療従事者向け資材 (撮像・読影の手引き)

【安全性検討事項】

重要な潜在的リスク:読影エラー

【目的】

読影者に対し, 適切な診断のための情報を提供する。

【具体的な方法】

本剤の納入時及び本資材の改訂時に MR が読影者に提供,説明し,資材の活用を依頼する。

企業ホームページに掲載する。

【節目となる予定の時期,実施した結果に基づき採択される可能性がある更なる措置】 安全性定期報告時に読影エラーの発現状況等を確認し,リスク最小化策の更なる強化 が必要と判断される場合,配布方法等の実施方法の改訂,追加の資材作成等を検討す る。

報告の予定時期:安全性定期報告書提出時

5 医薬品安全性監視計画、有効性に関する調査・試験の計画及び リスク最小化計画の一覧

5.1 医薬品安全性監視計画の一覧

5.1				
通常の医薬品安全性監視活動				
副作用、文献・学会情報及び外国措置報告等の収集・確認・分析に基づく安全対策の検討(及				
び実行)				
追加の医薬品安全性監視活動				
追加の医薬品安全性	節目となる症例数/	節目となる	実施状況	報告書の
監視活動の名称	目標症例数	予定の時期	美 飑状疣	作成予定日
市販直後調査	なし	販売開始から	実施中	調査終了か
		6ヵ月後		ら 2 ヵ月以
				内

5.2 有効性に関する調査・試験の計画の一覧

5.3 リスク最小化計画の一覧

通常のリスク最小化活動				
電子添文による情報提供。				
追加のリスク最小化活動				
追加のリスク最小化活動の	節目となる	実施状況		
名称	予定の時期			
市販直後調査による情報提供	実施期間:販売開始から 6 ヵ	<u>実施中</u>		
	月後			
	評価の予定時期:調査終了か			
	ら2ヵ月以内に報告の予定			
医療従事者向け資材(撮像・	安全性定期報告書提出時	<u>実施中</u>		
読影の手引き)				